

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

練習は補助競技場及び補助競技場隣の室内走路を利用することができる。また、投てき練習は、ウォームアップ場系の指示に従い、安全面に十分に注意すること。

3. 競技場使用の注意

- (1) 本競技場は、全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは、トラックでは9mm以下、フィールド（走高跳・やり投のみ）では12mm以下を使用すること。建物内ではスパイクで歩かないこと。
- (2) 選手は競技役員の指示に従って入場、退場すること。
- (3) 本競技場での喫煙は、所定の場所で行うこと。

4. 招集について

- (1) 招集所は各競技、現地とする。
- (2) 各競技の招集時刻を下記の通りとし、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
跳躍競技（棒高跳を除く）	40分前	30分前
棒高跳	100分前	60分前
投擲競技（砲丸投を除く）	50分前	40分前
砲丸投	40分前	30分前

- ※ 混成競技の招集は1日目、2日目とも最初の競技種目開始予定時刻の30分前に招集所で完了する。以後の招集は行わない。2種目目以降は、各系の指示を受けること。
- (3) 各系の指示に従って、各出発地点及び各試技場等で最終点呼を受けること。
 - (4) 招集時刻に遅れた者は、棄権とみなす。
 - (5) 招集完了時刻に他種目と兼ねて出場するものは競技者係および審判員に申し出ること。
 - (6) リレーのオーダーは、招集場所にあるオーダー用紙に記入して、第1組目招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。また、予選を通過したチームは、2名まで選手変更を申し出ることができる。但し、その2名については、プログラムに記載がある者に限る。

5. 棄権について

- (1) 選手の棄権は、代表者会議で受け付けた者のみとする。
- (2) 当日やむを得ず棄権する者は、学連本部にある所定の棄権届を招集開始前に競技者係に提出すること。

6. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは本大会用のものを使用すること。
- (2) トラック競技の出場者は招集時に配布される写真判定用の腰ナンバー標識をパンツ右側につけること。なお、腰ナンバー標識は招集所にて貸し出すので、レース後ゴール地点にて必ず速やかに返却すること。
- (3) ナンバーカードは、胸・背両面につける。ただし、跳躍種目については、胸または背のどちらか一方でもよい。

7. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用すること。ただし、やりとポールについては、個人所有のものを使用することができる。
- (2) 個人所有のやりは、招集所にて競技開始時刻の2時間前から30分間、ポールは競技実施場所にて競技開始前に、各々検査を受けて許可されたものでなければ使用できない。

8. 競技について

- (1) 競技中における助力は『日本陸上競技連盟競技規則 TR6』に則り規制される。これに抵触する場合は審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。
- (2) 競技中における失格は『日本陸上競技連盟競技規則 TR7』に則り規制される。競技者がある種目で CR18.5 に定める競技者にあるまじき行為あるいは下品な行為をした場合、審判長より警告、あるいは失格処分が下される。また、TR16.5 により2度目の警告を受けた場合は失格となる。特にスタートの遅延行為がこれに該当するため注意すること。もし、2度目の警告が違う種目で行われた場合は2度目の種目で失格となる。
- (3) トラック競技
 - ① レーン順はプログラム記載通りとする。
 - ② 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - ③ スタートの合図は英語で行う。
 - ④ 不正スタートは1回で失格とする。ただし、スターターの号砲以前の動きは注意のみとする。
 - ⑤ 男女 5000m、男女 10000m、男女 10000mWについては時間制限を設ける。それぞれ以下に示した時間までに残り一周に到達しない場合はレースを打ち切ることとする。

	5000m	10000m	10000mW
男子	20 分	40 分	55 分
女子	25 分	45 分	60 分

(4) フィールド競技

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従うこと。
- ② 跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に競技者が用意した

規定のマーカーを2個まで置くことができる。また、砲丸投・円盤投・ハンマー投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。これらの撤去は使用した競技者が責任をもって行うこと。

- ③ 三段跳の踏切版の位置は、男子は12m、女子は9mとする。
- ④ 棒高跳の競技者は、希望するアップライト位置を跳躍審判員に申し出ること。
- ⑤ 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

	練習 A	練習 B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m85	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m10 以降 3cm 刻み
男子棒高跳	3m00	3m60	3m20	3m40	3m60	3m70	3m80	3m90	以後 10cm 刻み
男子混成走高跳	1m50	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後 3cm 刻み
男子混成棒高跳	2m40	2m80	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後 10cm 刻み
女子走高跳	1m30	1m45	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後 3cm 刻み
女子棒高跳	2m00	2m40	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以後 10cm 刻み
女子混成走高跳	1m30	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以後 3cm 刻み

(注) 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。優勝が決まった後にバーを上げる場合は、競技者は当該審判員あるいは審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

(5) リレー競技

- ①4x100m リレーの競技者は、自らが用意した大きさが最大 50mm×400mm の粘着テープを1箇所、自らのレーン内に貼ることが許される。それ以外のマーカーの使用は認められない。その撤去は使用したチームが責任をもって行うこと。
- ②リレーに出場するチームは、同一のユニホームを着用すること。

(6) 混成競技

混成競技者控室は、男女それぞれ本競技場更衣室に設ける。ただし、更衣室内のシャワー室は使用禁止とする。

使用する際はマスク着用や手洗いなど、感染症対策の徹底をすること。

9. 表彰及び対校得点について

- (1) 個別表彰は感染症対策の観点から、実施しない可能性がある。
- (2) 表彰は各種目3位まで行う。該当する者は競技成績発表(アナウンス)終了後、表彰を行うので本部表彰席に集合し表彰係の指示に従うこと。
- (3) 賞状は8位までに入賞者に授与する。競技終了後、受付に用意するので取りに来ること。
- (4) 閉会式において、成績の優れた男女1名を最優秀選手として表彰し最優秀選手賞を授与する

(5) 対校得点は、1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

(6) 総合が同得点の場合、1位種目の多い学校、それでも決まらない場合は2位種目の多い学校、以下3位、4位、5位、6位、7位、8位、4×100mの成績、4×400mの成績で決定する。

10. 抗議について

競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議については、その競技者あるいはチームの監督が、その種目の結果の正式発表（アナウンス）後30分以内に、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、審判長に口頭で申し出なければならない。

11. 第90回日本学生陸上競技対校選手権大会へのエントリーについて

各種目優勝者には9月17日(金)から19日(日)まで熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われる第90回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場標準C記録突破者として参加する権利が与えられる。

12. その他

(1) 応援について

放送設備の連絡系統の妨害を避けるのに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密状態を避けるため、メインスタンド含む競技場全体で集団応援禁止とする。発声の応援は禁止である。

手すりから離れて応援すること。また、跳躍や投てきの際の掛け声に対する大声での返事を控えること。ただし、手拍子はしてもよい。

(2) 応急処置について

競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療費は本人の負担とする。また、事故の結果については本連盟は一切責任を負わないものとする。

(3) 競技場の開場・閉場時間

		(開場時間)	(閉場時間)
大会前日	7月2日(金)	12:00	17:00
第1日目	7月3日(土)	7:00	19:00
第2日目	7月4日(日)	7:00	19:00

(4) ゴミについて

各参加校は、両日ともに競技終了後、ゴミの始末を責任を持って行うこと。代表者会議の際、ゴミ袋を配布する。ゴミは原則として各校で必ず持ち帰ること。

(5) 携帯電話等通信機器の持ち込みについて

競技場内に携帯電話等通信機器の持ち込みは禁止とする。出場種目の招集時にもっていかない。

(6) 競技の撮影について

学生および各大学の監督・コーチは、大学名が分かる服装での撮影のみ認める。

(7) 医務室でのトレーナー活動は行わない。

(8) 今大会は、無観客で競技を行う。一般客の場内への立ち入りを禁止とする。

(9) 雨天走路について

大会中は貸し切りのため使用可能である。